



加藤内科広報新聞9月号

朝夕の冷え込みが増す頃 お変わりはありませんか？
季節の変わり目ですので体調にはくれぐれもご注意ください



インフルエンザ・コロナウイルス感染症が流行しています

インフルエンザが全国で例年より早く流行し、注意が必要な状況が続いています。
地域によって流行に差があるものの、大阪府でも学級閉鎖などの対策が行われるほどの流行期に突入したようです。

また、インフルエンザと同様にコロナウイルス感染症に罹患する患者様も増えています。
インフルエンザ・コロナウイルス感染症・風邪の症状は共通点がたくさんあり、抗原検査をしないと判断できません。発熱がなくても、抗原検査をすると感染していることが判明するケースも意外に多いです。

発熱した方、風邪症状があり検査希望の方は予約制で診察をしていますので、
まずはお電話にてご予約をお願いいたします。

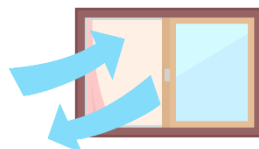
《主な症状》

インフルエンザ A 型	インフルエンザ B 型	コロナウイルス感染症
38℃以上の高熱 頭痛・関節痛・筋肉痛 倦怠感 咳・咽頭痛 鼻水・鼻づまり	37～38℃程度の発熱 頭痛・関節痛・筋肉痛 倦怠感 咳・咽頭痛 鼻水・鼻づまり 腹痛・下痢・吐き気・嘔吐	発熱 頭痛・関節痛・筋肉痛 倦怠感 咳・咽頭痛 鼻水・鼻づまり 腹痛・下痢・吐き気・嘔吐 味覚障害・嗅覚障害

※上記のような症状が出ない場合や、他の症状が出る場合もあります。

予防するには・・・

- ✓ 外食後や食事前の手洗いうがい
- ✓ マスクの着用
- ✓ こまめな換気と適度な湿度を保った環境作り
- ✓ 十分な睡眠とバランスのよい食事
- ✓ 予防ワクチンの接種をする など



各自で感染対策を実施し、予防に努めましょう。

今年はインフルエンザの予防接種を早く開始しています



当院では、9月14日（月）からインフルエンザの予防接種を開始しています。
詳細は待合室に配布しております「インフルエンザの予防接種について」の用紙をご確認ください。

（コロナウイルス感染症ワクチンは、例年通り10月1日（木）から開始いたします）

《よくある質問》

●効果はどのくらい続く？

→接種1週間後から免疫がつき始め、2週間程度で安定した免疫ができてきます。
その後3ヵ月～5ヵ月程効果が持続すると言われていますが、
3ヵ月を過ぎた時期から効果が低下する傾向にあります。（個人差があります）

●副反応はあるの？

→接種部位の赤みや腫れ、痛み、悪寒や発熱、頭痛や倦怠感は接種後24時間以内に
でることがあります。症状は、2～3日程度で消失します。
また、アナフィラキシーなどの急な副反応は、接種後30分以内に出ると言われて
います。この場合は、すぐに救急車を呼んでください。

●接種後、お風呂は入ってもいい？

→お熱が出なければ、入浴は可能です。
接種部位はあまり強く洗わないようご注意ください。



●接種後、お酒を飲んでもいい？

→適量であれば飲んでもいいと言われていますが、アルコールにより副反応が強くなる
場合があります。可能であれば、飲酒は控えてください。

●接種後、運動をしてもいい？

→軽い日常的な運動は可能ですが、水泳やマラソン・筋トレなど激しい運動は避けて
ください。

インフルエンザの流行が早い傾向にあるため、当院では例年より早い時期からワクチンの
接種を開始いたします。希望される方は、スタッフにお申し出ください。
堺市在住の65歳以上の方は、当院では9月28日より堺市の助成制度が適用されます。
流行している今、予防接種をしたいが、早く効果が切れることも不安・・・
という方は、ワクチンの2回接種も検討してみてはいかがでしょうか？
その場合、2回目の接種は全額負担となります。ご注意ください。